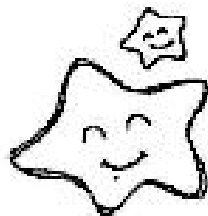


QSK
にぬふあぶし

No.316

ね
子の方向の星(北極星)



第26回あみ全国大会

主催:全国精神障害者地域生活支援協議会

沖縄大会



「チャンスはピンチの顔してやってくる」～まくとうそーけー、なんくるないさ～



2023年7月29日(土)

11:00～17:00

@沖縄県立博物館・美術館

(那覇市おろもまち3-1-1)

@ON LINE ハイブリット開催



【参加費】

会場参加:会員 3,000円
非会員 4,000円
当事者・家族・学生 2,000円

オンライン参加:会員 1,500円
非会員 2,000円
当事者・家族・学生 1,000円

活動交流会参加:5,000円(会場参加者のみ)

詳細はこちらから!

記念講演:「納得のいく社会参加～地域に必要な存在となるために～」永山盛秀氏(ハーネス)、シンポジウム:池原毅和、熊谷修、永山盛秀、兼浜克弥 他

【お問い合わせ】第26回全国大会事務局

IT作業所 sunbridge サンブリッジ:迎里(平日10:00～15:00)

TEL・FAX:098-995-8965 Mail: ami23inokinawa@gmail.com

宮古の春の風物詩と、交流が帰ってきたよ～！！

4月16日(日)、4年ぶりに開催された「トライアスロン宮古島大会」。島じゅうが応援一色になるこの日に向けて、プラザも4年ぶりの応援幕作りを行いました。



コロナ禍を経て気付いたのは、この丸3年の間にずいぶんと利用者さんの顔ぶれが変わったということ。その変化は応援幕作りのアイデアにも表れており、恒例の応援文句『ワイドー！(がんばれ)』ではなく、地元のことばを使いながらシャレを効かせた

『You Tuber? Yes! ばーやー(自分は)ちゅーばー(強者)』となりました。

仕事終わりでもプラザに顔を出し、日々せっせと取り組んでくれた皆様に感謝です。

さらに、海外選手に歓迎の気持ちをこめて万国旗も作成。こちらは昨年から活用している布マスクに、行ってみたい国や好きなデザインの国旗を手描きしてもらい、彩りよく沿道を飾ってくれました。



大会当日は太陽がギラギラと照り付ける夏日となり気温も急上昇！ コースが短縮される中、なんとプラザ前の道路がマラソンコースの折り返し地点に！ 中継のカメラはもちろん、沿道にも観客が詰めかけ「ワイドー！ワイドー！」と例年以上のにぎわいです。

プラザも太鼓を叩いて応援、私設のボランティア給水は休憩できないほど大忙しです。



顔も体も真っ赤にしたランナーがひっきりなしに訪れる光景を見て、近所の女子中学生たちが「手伝っていいですか？」と声を掛けてくれました。宮崎から応援に来たファミリーも参加して、どんどんお水を配っては、投げられたコップを回収し、プラザメンバーも子供たちも一体となって選手を応援。「暑いけどだいじょうぶ～？」「ありがとうね～」と声をかけあっていました。スポーツを通して、自然と地域での交流が生まれた光景にさわやかな感動を覚えたアツい一日となりました。



(ふれあいプラザ宮古)



宮古島に行ってきました (2)



ところで、宮古島で印象的だったことのひとつに、いたるところたっぷりとした余白の広がっていることがありました。目的地と目的地のあいだには草地や森が青々と繁り、青空の下にはアスファルトがどこまでもなだらかに続いていて、立ち寄ったサンエーショッピングセンターの通路はいちいち考えられないほど広く、いつもの距離感でトイレに行って帰ってくるだけでも油断をしていると息が切れるのでした。

前回の続きです。

『ハートフルふきあげ』は、栃木県栃木市に本部を持っていて、その『みやこ事業所』が宮古島市下地^{しもじ}地区でパンやおかきの販売を行なっています。沖縄の事業所ならではの“黒糖味おかき”なんかも並んでいて、なかなかクセになる美味しさ。

対応していただいたスタッフの松原さんは、他に農業も手がけているそうで、モリンガや月桃の自然栽培などを行なっているとのことでした(ぜひ、『工房ぬばりの森』を検索してみてください)。



続いて、NPO法人マーズ『くこりもや』では、理事長の下地克子さん、相談支援センター長で宮古圏域アドバイザーの下地晃次さんとお会いしました(おふたりとも下地さんで、ちょっと似た雰囲気もありますが、特に親族関係ではありません)。

克子さんは、『ふれあいプラザ宮古』の立ち上げ期から、沖福連がいろいろと相談に乗ってもらっている“重鎮”です。今回もころよく時間を作っていただいて、事業のことなどさまざまなアドバイスをもらいました。

おふたりともとても明るく、くつきりとした考え方を持っていて、「そりゃみんな相談に来るよな」という人柄に触れることができました。

『くこりもや』と同じ狩侯地区^{かりまた}にある、『DARC大きな和』^{ダルク}にも足を運んでいます。事前連絡もなしの訪問だったにも関わらず、職員の富田さんにとっても丁寧な対応をしていただきました。



修道院を改修した施設は森のなかであって、辺りにはたくさんの蝶が飛び交っていました。シスターたちが黙想をして生活をしていたという施設空間

は、いまも社会の喧噪から遠く隔たっている感じがして、窓から外の自然を眺めていると、自分たちが日頃いかに人間ばかりに関わりすぎているか、もう少しそれ以外のことも大切にすべきではないかということをおもひ出させてくれます。

おりしも年度の切り替わる3月、4月、個人的に今年は特に時間に追われる毎日で、自然に目を向ける余裕などまったくなく、日ごとに心から余白の失われていく感覚が続いていました。自分にとって今回の宮古島訪問はそうした日々のなか、なかば強制的に打ち込まれた休止符だったようにも感じます。

3年前のにぬふあぶし(No.280)編集後記で、「余白の大切さ」ということを力説していた私ですが(沖福連のホームページからバックナンバーを読めます)、偉そうに語ることとそれを保持することとはまた別問題で、むしろ盛んに言語化する人間ほど自分に必要だからそういうことを言いたがるのです。

そんなわけで3年後には、隙間だらけの日々をゆるゆると生きている自分でありますように。そんなことを思う宮古島の^{ひととき}一時でした。(増山)

◎編集後記◎

“一食も取り残さない!”。美味しい食事を味わうことは、私にとって人生の大きなテーマのひとつです。GWは栃木に帰郷してきましたが、寄り道も含めた道中の一食一食が、幸福な思い出として残っています。東大の学食で食べた名物の赤門ラーメン、群馬で巡り合ったナマズの天ぷら、地元・栃木市のソバと日本酒、10年ぶりくらいに味わったフライングガーデンの爆弾ハンバーグ、なぜか別々の機会に2度食べたレバー揚げ etc、そして食べたかったけれど食べられなかった数々。次回の大事な楽しみです。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平 206-1

てるしのワークセンター内

電話 098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

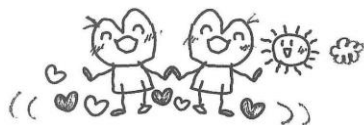
〒812-0068

福岡市東区社領 1 丁目 12 番 4 号

電話 092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)

賛助会員、読者の皆さま



公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾 (公印省略)

賛助会員(2023年度)継続・加入のお願い

拝啓

皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 日頃は広報『にぬふあぶし』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。「読んだよ！」のお声かけにも、いつも大きな励みをいただいております。引き続きいっそう有意義な紙面づくりに努めてまいります。もし「こんな記事が読みたい」などのご要望があれば、ぜひ声をお寄せいただければ嬉しいです。

さて、沖福連の活動は、皆様からの賛助会費やご寄付によって支えられております。今後とも変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

いつもご負担をおかけして誠に恐縮ですが、2023年度賛助会費の手続きをどうぞよろしくをお願いいたします。(※郵便振替用紙をいつも同梱していましたが、低料金第三種郵便物の利用条件に抵触してしまう場合があるため、今回より省いています。お手数をおかけしますが、必要な方はお気軽にご連絡ください)

末筆ではございますが、ご多忙の折なにとぞお身体ご自愛ください。

敬具

賛助会費(2023年度) 個人 | 口: 2,000円

団体・法人 | 口: 10,000円

ゆうちょ振込口座: 02020-0-37037

(加入者名: 公益社団法人沖縄県精神保健福祉会)

※オンラインによるクレジットカード決済でも賛助会費の払込みが可能です。
沖福連ホームページから「寄付・賛助会員のご案内」をご覧ください(右QR)。



【お問い合わせ・連絡先】

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1 沖福連事務局 (担当: 増山)

電話 098-889-4011 FAX: 098-888-5655 Email: terushino@castle.ocn.ne.jp